

6月21日

テーマ：主の良くしてくださったこと

聖書箇所：詩篇103篇1～5節

◆今日のみことば

わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。

詩篇103篇2節

◆メッセージ

小さなお友だちも、大きなお友だちも、そして大人にだって、辛い事や悲しい事がたくさんあります。けがや病気、失敗や間違い。一生懸命お祈りしたのに、一生懸命やったのに、だめだった。なぜ？どうして？って思います。けがや病気なんか、失敗や間違いなんか、なければいいのに。元気で何でもできればいいのに。うまくいって、間違いがなければいいなあ、と誰もが思います。でも、けがや病気になる時があるから、「元気で、何でもできることはすばらしいなあ」とわかるでしょう。失敗や間違いがあるから、うまくいった時やじょうずにできた時の喜びが大きくなるのです。

私たちはけがや病気の事、失敗や間違いの事は、思い出すことができますが、元気なこと、うまくできたこと、間違えなかったこと、普通のことは忘れてしまいます。当たり前、とってしまいます。当たり前、と思うと、感謝も喜びもありません。でも、私が生きていること、は当たり前ではありません。神さまが、私たちに必要なものは与えてくださっています。私たちが生きるために必要なもの、空気も水も、食べ物も着る物も。家も学校も。家族やお友だちも…。数えたらきりがありません。イエスさまの十字架の救いによって、罪をゆるしていただきました。イエスさまのお名前によって、神さまにどんなことでも祈ることができます。神さまがいつもそばにいてくださいます。こんなにたくさんすばらしいことがあるのに、当たり前、とっていませんか。神さまに感謝していますか。神さまの恵みを忘れて、文句ばかり言っていないですか。



神さまがしてくださったことを、一つ一つ数え上げて感謝しましょう。「神さま、〇〇〇〇をありがとうございます。」

そして、それを忘れないで神さまに感謝すること、神さまをたたえることが、とても大切です。

◆お祈り

神さまは私に、いつも良いものを与えてくださいます。必要なものを与えてくださいます。それを数えて、心から感謝します。

(椎名町教会牧師 小林伊佐美)